

授業科目名 (英文名)	韓国・朝鮮語 2 (Korean 2)	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	1年次・後期
担当教員	金 静愛	所属	非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	外国語を学習する上で、基本的な文法事項はもちろん、言語の背景にある文化について知見を得、それをもとに比較文化的に思考する能力を身につけることは重要である。本講義の到達目標は、韓国・朝鮮語を正しく読み、書き、発音できること、正しい文法の理解をもとに簡単な自己紹介や挨拶などの会話ができること、韓国・朝鮮語圏の文化を多角的に理解できるようになること、である。		
講義内容・授業計画	第1回：既習事項の確認、過去形 第2回：連体形(1)、人称代名詞 第3回：連体形(2) 第4回：ㄷ語幹の用言 第5回：推量、不可能、希望の表現 第6回：ㄴ変則用言 第7回：まとめと中間試験 第8回：ㄹ変則用言 第9回：ㄹ変則用言 第10回：ㅇ変則用言 第11回：ㅇ変則用言 第12回：ㅇ変則用言 第13回：変則用言まとめ 第14回：総合練習と対話練習 第15回：まとめと期末試験		
テキスト	生越直樹(著)：『ことばの架け橋(精選版)』、白帝社(生協等で購入する)		
参考文献	必要に応じて授業中に指示する		
成績評価の基準・方法	成績評価の基準： 学習内容を理解し、朝鮮語の基礎的な読む、書く、話す、聞くの能力を身につけた者に単位を授与する。講義目的・到達目標に記載された内容の到達度に応じてSからCまで成績を与える。 成績評価の方法： 定期テスト50%、レポート・小テスト20%、授業への取り組み30%を基準として総合的に評価する。なお、欠席が5回をこえた場合、成績評価の対象とならない。		
履修上の注意・履修要件	学習内容を理解し、身につけるためには反復練習が重要である。そのため授業中に指定された教科書の練習問題に取り組むと同時に、各授業の前後にそれぞれ1～2時間程度の予習復習を行うことが望ましい。授業の初めに前回の講義内容について簡単な小テストを実施する予定のため、各自準備を欠かさないようにすること。 新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業 ・当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。		
実践的教育	該当しない。		
備考	講義内容・授業計画は状況を見て適宜変更する可能性あり。 この授業で習った知識を実践することで韓国・朝鮮語の理解を深めていきましょう。		